

## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 エスピー食品株式会社  
 コード番号 2805 URL <https://www.sbfoods.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池村 和也  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理サポートグループ (氏名) 山崎 崇弘  
 財務管理室長  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3668-0551

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	93,853	2.7	5,637	28.8	5,762	27.9	4,249	24.9
2022年3月期第3四半期	91,358	2.2	7,914	19.2	7,992	17.5	5,661	18.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 4,822百万円 (17.6%) 2022年3月期第3四半期 5,849百万円 (22.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	344.35	
2022年3月期第3四半期	445.79	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	136,536	63,087	46.2
2022年3月期	128,984	59,903	46.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 63,087百万円 2022年3月期 59,903百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		25.00	50.00
2023年3月期		27.00			
2023年3月期(予想)				27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	122,500	3.8	5,000	42.0	5,100	41.4	3,700	40.6	299.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	13,622,234 株	2022年3月期	13,622,234 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,537,631 株	2022年3月期	1,254,135 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	12,339,738 株	2022年3月期3Q	12,700,078 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が緩和され、徐々に、経済活動の平常化の動きが見られる一方、ウクライナ情勢長期化の影響等による原材料価格の高騰や供給面での制約に加え、外国為替市場での急激な円安の進行などから、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、外食需要の持ち直しの動きといった消費行動や市場構造の変化や、原材料・エネルギー価格の高騰による物価上昇が続いているほか、更なる物価上昇懸念等の先行きへの不安からお客様の節約志向が高まるなど、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況のなかで、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、2020年4月より開始いたしました第2次中期経営計画に基づき、「地の恵み スパイス&ハーブ」を核とした事業活動を推進するとともに、社会環境の変化やお客様のニーズの多様化への対応に全社一体となって取り組んでまいりました。

また、新型コロナウイルス感染症に対しては、徹底した対策を継続し従業員の安全確保と製品の安定的な生産・供給に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業において、外食需要の回復の動きが進んだことに加え、即席グループや、インスタント食品その他グループを中心に家庭用製品も伸長し、前年同期比24億94百万円増の938億53百万円（前年同期比2.7%増）となりました。利益面では、原材料価格等の高騰により売上原価率が上昇いたしましたことから、営業利益は前年同期比22億76百万円減の56億37百万円（同28.8%減）、経常利益は前年同期比22億30百万円減の57億62百万円（同27.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14億12百万円減の42億49百万円（同24.9%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「3. 補足情報」をご参照ください。

#### (1) 食料品事業

売上高は、前年同期比23億5百万円増の835億36百万円（同2.8%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比22億57百万円減の49億80百万円（同31.2%減）となりました。

#### (2) 調理済食品

売上高は、前年同期比1億88百万円増の103億16百万円（同1.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比19百万円減の6億24百万円（同3.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して75億51百万円増加し、1,365億36百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少73億17百万円などがあったものの、売上債権の増加112億4百万円、棚卸資産の増加34億89百万円などがあったことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して43億67百万円増加し、734億48百万円となりました。これは主に、借入金の増加27億63百万円に加え、前連結会計年度まで非連結子会社であった子会社を新たに連結の範囲に含めたことを主な要因とした、仕入債務の増加25億8百万円などがあったことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して31億84百万円増加し、630億87百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加36億42百万円などがあったことによるものであります。この結果、自己資本比率は46.2%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、2022年10月31日に発表いたしました2023年3月期通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,245	17,928
受取手形、売掛金及び契約資産	27,567	38,772
商品及び製品	9,218	8,668
仕掛品	2,557	3,983
原材料及び貯蔵品	7,978	10,590
その他	699	1,629
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	73,265	81,572
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	17,785	18,471
機械装置及び運搬具(純額)	10,749	10,430
土地	8,623	8,760
その他(純額)	3,009	2,515
有形固定資産合計	40,168	40,177
無形固定資産	725	592
投資その他の資産		
投資有価証券	9,436	9,997
退職給付に係る資産	9	47
その他	6,470	4,168
貸倒引当金	△1,090	△20
投資その他の資産合計	14,825	14,193
固定資産合計	55,719	54,963
資産合計	128,984	136,536

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,859	15,367
短期借入金	18,434	23,408
未払金	10,728	10,366
未払法人税等	1,097	515
賞与引当金	1,425	738
資産除去債務	—	1
その他	1,982	2,555
流動負債合計	46,527	52,952
固定負債		
長期借入金	14,647	12,435
退職給付に係る負債	6,184	6,289
資産除去債務	122	121
その他	1,599	1,649
固定負債合計	22,554	20,496
負債合計	69,081	73,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,336	5,336
利益剰余金	52,140	55,783
自己株式	△2,933	△3,960
株主資本合計	56,288	58,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,022	3,442
土地再評価差額金	862	857
為替換算調整勘定	103	191
退職給付に係る調整累計額	△373	△307
その他の包括利益累計額合計	3,614	4,183
純資産合計	59,903	63,087
負債純資産合計	128,984	136,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	91,358	93,853
売上原価	65,896	70,334
売上総利益	25,461	23,519
販売費及び一般管理費	17,547	17,881
営業利益	7,914	5,637
営業外収益		
受取利息	13	2
受取配当金	218	262
不動産賃貸料	32	32
為替差益	35	100
その他	145	120
営業外収益合計	444	519
営業外費用		
支払利息	364	343
その他	2	51
営業外費用合計	367	395
経常利益	7,992	5,762
特別利益		
補助金収入	30	116
関係会社清算益	—	106
その他	14	26
特別利益合計	44	249
特別損失		
固定資産除却損	21	73
固定資産圧縮損	—	75
製品回収関連費用	52	—
その他	74	46
特別損失合計	148	195
税金等調整前四半期純利益	7,888	5,816
法人税、住民税及び事業税	2,220	1,700
法人税等調整額	6	△133
法人税等合計	2,227	1,567
四半期純利益	5,661	4,249
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,661	4,249

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純利益	5,661	4,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	420
為替換算調整勘定	31	87
退職給付に係る調整額	46	65
その他の包括利益合計	188	573
四半期包括利益	5,849	4,822
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,849	4,822
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度まで非連結子会社であった株式会社泰秀及びS&B FOODS SINGAPORE PTE. LTD. につきまして、重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	81,231	10,127	91,358	—	91,358
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	81,231	10,127	91,358	—	91,358
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	81,231	10,127	91,358	—	91,358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	81,231	10,127	91,358	—	91,358
セグメント利益	7,237	644	7,882	31	7,914

(注) 1. セグメント利益の調整額31百万円は、セグメント間取引消去31百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
一時点で移転される財	83,536	10,316	93,853	—	93,853
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じ る収益	83,536	10,316	93,853	—	93,853
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	83,536	10,316	93,853	—	93,853
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	83,536	10,316	93,853	—	93,853
セグメント利益	4,980	624	5,605	32	5,637

(注) 1. セグメント利益の調整額32百万円は、セグメント間取引消去32百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

### 3. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第3四半期 (累計)	当第3四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	81,231	83,536	2,305	
スパイス&ハーブ	23,674	23,566	△107	洋風スパイス (減少)
即席	25,113	27,348	2,235	即席カレー (増加)
香辛調味料	33,706	32,583	△1,123	チューブ製品 (減少)
インスタント食品その他	22,328	24,421	2,092	レトルトカレー (増加)
売上控除	△23,592	△24,382	△790	売上増加に伴う売上控除の増加 (減少)
調理済食品	10,127	10,316	188	調理麺等 (増加)
計	91,358	93,853	2,494	